

令和 6 年度（2024 年度）枚方市立図書館第 4 次グランドビジョン進捗状況

I 枚方市立図書館第 4 次グランドビジョンの基本的な考え方

1 基本理念（市立図書館のあるべき姿）

- 図書館は、知の源泉となる図書館資料を収集、保存し、広く市民に提供して、その教養、調査研究、余暇活動などに役立てる社会教育機関である。
- 図書館は、市民のニーズに応じて資料や情報を提供する地域の情報拠点である。

図書館には、市民の主体的な学習活動や、子どもたちからの読書習慣の育成への支援が求められているとともに、市民の多様化するニーズや、新しい時代の流れに対応した取組が期待されています。

枚方市立図書館第 4 次グランドビジョン（以下「本計画」という。）においては、図書館の使命を資料、情報の提供であると捉えるとともに、誰にでも開かれた知の拠点として市民一人ひとりに寄り添い、より豊かな暮らしや、まちづくり、まちの魅力向上に資するため、「一人ひとりの学びを支え、人と人、まちと未来をつなぐ図書館」を目指します。

2 運営方針

「一人ひとりの学びを支え、人と人、まちと未来をつなぐ図書館」を実現するために、社会情勢の変化や市民ニーズ、本市の図書館の現状と課題を踏まえ、4 つの運営方針を定めます。

- 運営方針 1 生涯の学びを支え、人と人との交流を創出する図書館
- 運営方針 2 子ども読書活動の推進に取り組む図書館
- 運営方針 3 多様な利用者が利用できる図書館
- 運営方針 4 効果的・効率的な運営による魅力的な図書館

II 枚方市立図書館第 4 次グランドビジョンの体系及び期間

1 計画の体系

本計画は、枚方市総合計画の教育に関する部門別計画である枚方市教育振興基本計画の施策分野別計画として位置付けるものです。また、本計画のうち子どもの読書活動に係る施策については、第 4 次枚方市子ども読書活動推進計画にも位置付け、一体的に推進していきます。

2 計画の期間

本計画は、枚方市総合計画、枚方市教育振興基本計画等と整合を図り、令和 3 年度（2021 年度）から令和 9 年度（2027 年度）までの 7 年間を計画期間とします。また、社会情勢、図書館を取り巻く環境の変化等に応じ、概ね 4 年ごとに必要な見直しを行います。

Ⅲ 令和6年度（2024年度）の進捗状況

運営方針1 生涯の学びを支え、人と人との交流を創出する図書館

1 施策の方向性

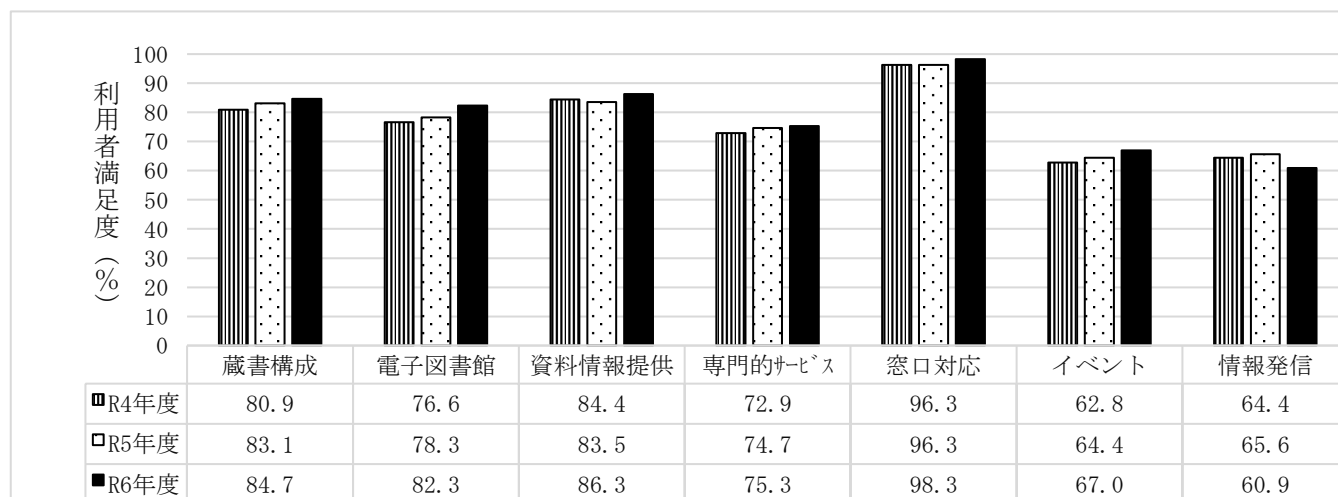
- (1) 魅力ある蔵書の充実
- (2) 様々な形態の資料の整備と新たな生活様式にも対応した環境整備
- (3) 課題解決支援の推進
- (4) 本や情報を通じた出会いの場、世代間交流の場の創出
- (5) 図書館利用促進の取り組みの推進

2 主な取組（資料4-2：参考資料P1～P2）

■ 図書館サービスに関する窓口アンケートの実施[継続]

- ・ 市立図書館全施設の来館者を対象として、図書館の各サービスに係るアンケートを実施。満足度に係る設問について、「満足」又は「概ね満足」と回答した人の割合は、蔵書構成 84.7%、電子図書館 82.3%、資料や情報の提供 86.3%、専門的サービス 75.3%、窓口対応 98.3%、イベント 67.0%、ホームページ、SNS 等による情報発信 60.9%であった。
- ・ 専門的サービス、イベント、情報発信に係る満足度については無回答の割合が高く、認知度が低いと考えられる。その中でも、専門的サービスは図書館資料と利用者をつなぐ図書館活動の核となる部分であることから、サービスのさらなる周知に取り組む必要がある。

利用者満足度の推移



無回答の割合

	蔵書構成	電子図書館	資料情報提供	専門的サービス	窓口対応	イベント	情報発信
R6 年度	1.3%	0%	11.2%	19.8%	0.8%	27.8%	31.5%

*電子図書館満足度の母数は電子図書館を利用したことがある人。別設問による電子図書館サービスを知っている人の割合 69.8%、知らない人の割合 29.7%、無回答 0.6%。

■ 本市施策に関するテーマの図書の特集展示[継続]

- ・ 本市の施策に関するテーマについて、図書の特集展示を行った。（主なテーマ：食育、里親支援、自殺防止、動物愛護、平和、人権、男女共同参画）

■ 中央図書館ボランティアとの連携[継続]

- ・ 中央図書館において、市民の生涯学習の一環として図書館ボランティア活動の機会を提供し、ボランティアと協力することにより、図書館運営の充実を図った。
- ・ 登録者 90 人の活動内容については、中央図書館の総合案内、おはなし会、書架の整理、寄贈図書の整理、図書の修理、行事の補助など。
- ・ 活動に係るスキルアップの一環として、図書の修理に関する基本研修を実施した。



中央図書館おはなしボランティア「ひらりんかたりん」の活動

3 主な課題と今後の取組

□ SNS、ホームページによる情報発信の充実

- ・ 主に広報ひらかた、ポスター、ちらし、枚方市ホームページ、枚方市公式 SNS、図書館公式 SNS により情報発信を行っているが、情報発信に係る利用者満足度は低く、ニーズに合った情報を適時に発信することが課題となっている。SNS については、定期的に情報発信を行う仕組みづくりを行う。

□ 電子図書館運営の方向性の整理

- ・ 有期限ライセンスで購入した資料の期限が切れたことにより、令和 6 年度（2024 年度）においては所蔵タイトル数が減少しており、今後の計画的な購入が課題となっている。
- ・ 市立小中学校の児童、生徒に一人一台貸与されているタブレットを通して、子どもに読書を勧める手法として高い効果が出ている「児童書読み放題パック」や電子書籍の特性を生かした資料を積極的に購入するなど、蔵書構築において、紙資料との使い分けを整理し、限られた予算を有効に活用していく必要がある。

運営方針 2 子どもの読書活動の推進に取り組む図書館

1 施策の方向性

- (1) 家庭における乳幼児期からの子どもの読書活動推進
- (2) 児童生徒の読書習慣の定着に向けた学校図書館へのさらなる支援
- (3) 子どもの読書活動および学習活動の発表の場の提供
- (4) 子どもの読書活動推進ボランティアの育成・支援

2 主な取組（資料 4 - 2：参考資料 P 3～P 4）

■ 市立小中学校における電子図書館利用環境の整備[新規]

- ・ 市立小中学校の児童、生徒に一人一台貸与されているタブレット端末のホーム画面にひらかた電子図書館のログイン用アイコンを追加し、容易に閲覧できる環境を整備した。



ひらかた電子図書館トップページ

■ 学校司書連絡会の運営[継続]

- ・ 市立中学校全 19 校、市立小学校 20 校に配置されている学校司書に対して、学校司書業務の円滑な実施を目的として、年 11 回、学校司書連絡会を実施した。

■ 子ども読書活動等推進ボランティア研修会及び交流会の実施[継続]

- ・ 子どもに絵本を手渡す意義について理解を深め、スキルアップを図るため、読み聞かせなどの活動をしている子ども読書活動推進に係るボランティア団体を対象として、研修及び交流会を実施した。（講師：正置友子さん（絵本学研究所主宰）、テーマ：生きるための絵本）

3 主な課題と今後の取組

□ 子どもの読書活動推進計画との一体的な取組

- ・ 子どもの読書活動に係る施策については、第 4 次枚方市子ども読書活動推進計画（計画期間：令和 4 年度（2022 年度）～令和 8 年度（2026 年度））と一体的に推進していく。

運営方針 3 多様な利用者が利用できる図書館

1 施策の方向性

- (1) 全ての人が利用しやすいサービスの充実
- (2) 高齢者サービスの拡充
- (3) 多文化・多言語サービスの拡充

2 主な取組（資料4 - 2：参考資料P5～P6）

■ 活字での読書が困難な人のための図書館サービスの実施[継続]

- ・ 点字図書、録音図書、大きな活字の本、デイジー¹、LLブック²の貸出を行った。
- ・ 利用者からのリクエストを受け、音訳協力者の協力を得て録音図書の製作を行った。製作した録音図書のデータは、サピエ図書館³にアップロードを行った。
- ・ 身体障害、知的障害、重度の要介護状態により、来館が困難な人に図書宅配サービスを行った。
（重度の障害、介護状態の場合は市が送料を負担）
- ・ 図書館において本や雑誌、新聞などを音訳者が対面で読む対面読書サービスと併せて、中央図書館と利用者の自宅をオンラインでつなぐ遠隔対面読書も実施した。



デイジー図書の再生機



対面読書サービス

■ 読書バリアフリー講演会の実施[継続]

- ・ 読書バリアフリーが誰にとっても身近なものであることを知ってもらうために、講演会を実施し、様々なサービスを紹介した。（第1回「手話言語研究センターの活動と「ろう文化」の理解のための取り組みについて」参加49人／「読書をあきらめないで！～障害や病気で好きな本が読めなくなったあなたへ」）参加28人）

■ 音訳協力者の養成[継続]

- ・ 市立図書館に登録している音訳協力者の技術向上を目的として、音訳協力者連絡会を10回実施。うち3回は外部講師による講座として実施した。

¹ DAISY: Digital Accessible Information System の略。視覚障害や学習障害など、通常の活字による読書が困難な人向けに開発された障害者用録音図書の形式。音声デイジーと、音声と同時に文字、写真・イラスト等の画像を再生できるマルチメディアデイジーがあります。図書館ではどちらのデイジーもCDで貸出しています。

² LLとは、スウェーデン語の Lättläst の略語で、「読みやすい」という意味。難しい表現や日本語の苦手な人が利用しやすいよう、やさしい言葉づかいで、写真や絵などを使って、わかりやすく読めるように工夫した本。

³ 「サピエ」は、視覚障害者を始め、目で文字を読むことが困難な人に対して、さまざまな情報を点字、音声データなどで提供するネットワーク。日本点字図書館がシステムを管理し、全国視覚障害者情報提供施設協会が運営を行っている。「サピエ図書館」はサピエのメインサービス。全国のサピエ会員施設・団体が製作または所蔵する資料の目録ならびに点字・音声図書出版目録からなる、点字図書や録音図書などの全国最大のデータベース。資料によっては貸出依頼をしたり、コンテンツをダウンロードしたりすることもできる。

3 主な課題と今後の取組

□ 読書バリアフリーサービスの周知と展開

- ・ 障害に限らず高齢、病気などの理由で本が読めない、読みづらくなった人にも、生涯を通じて読書を楽しむための多様なサービスがあることを知ってもらうため、様々な機会をとらえて周知を行っていく。また、現状として、視覚障害のある人へのサービスが主となっていることから、ニーズを的確に把握した上で、利用者の求めに合った読書バリアフリーサービスを展開していくことが課題である。

運営方針 4 効果的・効率的な運営による魅力的な図書館

1 施策の方向性

- (1) 効果的・効率的な運営による魅力的な図書館の構築
- (2) 中央図書館の役割
- (3) 分館・分室の役割
- (4) 職員の人材育成
- (5) 財源確保の取り組みの推進

2 主な取組（資料 4 - 2：参考資料 P 7～P 9）

■ 市駅前図書館のオープン[新規]

- ・ 枚方市駅直近の複合施設「ステーションヒル枚方」5階の行政サービスフロアに市駅前図書館を開館した。併設の生涯学習交流センターとともに、祝日を含めた全曜日、午後9時まで開館。



市駅前図書館(ステーションヒル枚方5階フロア)



IC タグ自動貸出機(複数冊同時に貸出可能)

■ 駅構内への予約図書受取ロッカー、返却ポストの設置[新規]

- ・ 京阪電鉄枚方市駅構内に、24 時間利用可能な予約図書受取ロッカーと返却ポストを設置した。



予約図書受取ロッカー(82 ボックス)



■ IC タグシステムの導入[新規]

- ・ 利用者の利便性の向上を図るとともに、貸出作業を効率化し、専門的サービスのさらなる充実を図るため、IC タグシステムの導入を開始した。令和6年度（2024年度）においては、新規オープンする市駅前図書館、中央図書館に導入。利用者自身で一度にまとめて貸出できる自動貸出機を設置し、併せて、中央図書館においては利用者自身で予約資料の受取ができるコーナーも設置した。

■ 読書履歴提供サービスの実施[新規]

- ・ 図書館で借りた本の書名などを印字できる読書履歴記帳機の設置、通帳型冊子「ひらかたブックダイアリー」の配布を中央図書館及び全8分館で開始した。
- ・ Web 上で借りた本の履歴の保存、読みたい本の登録などができる My 本棚サービスを開始した。



「ひらかたブックダイアリー」記帳機



通帳型冊子「ひらかたブックダイアリー」

3 主な課題と今後の取組

□ IC タグシステム導入による図書館サービスの充実

- ・ IC タグシステムを導入し、貸出や予約資料の受取にセルフサービスを導入したことにより、これまで貸出作業に要していた時間をサービスの充実のために確保できるようになる。利用者のニーズを踏まえ、魅力的な棚づくり、読書案内、レファレンスサービス⁴、本に関するイベントの実施など、人と資料をつなぐために、専門性を活かしたサービスのさらなる充実に取り組む。

□ 人材の育成

- ・ 従来の図書館サービスに関する知識や技術の継承だけでなく、将来的なビジョンやコスト意識などを持ち、現状を積極的に改革できる力を持つ人材の育成が課題である。

⁴ 情報を求めている利用者に対して、図書館職員が提供する個人的援助。広義にはこのサービスを活発に行うために必要な資料の整備、作成を含む。